はじめに
～実験を実施するにあたっての注意事項～

本実験実践年報は本来、小学校４年生から６年生を対象として大阪教育大学柏原キャンパスで実施している公開科学実験講座である「子と親の楽しいかがく教室」で配布して使用された実験書を、一部改編して学校や家庭で使用できるようにしたものです。しかしながら、2020年度より新型コロナウィルス感染症が世界的に猛威を振るい続け、さらには新たな変異株が発見され続けるという厄災に見舞われ、その拡大を防止するために2021年度も「子と親の楽しいかがく教室」の実施は断念いたしました。楽しみにしておられた方々、本学にお問い合わせいただいた方々におかれましては、誠に申し訳ございません。

今年度も、せめて家の中でできるような科学実験を紹介することができればと思い、家庭でもできる実験を新たに二件紹介しております。オープンアクセスにしておりますので、登録申請をすることなく閲覧することが可能です。理科離れという言葉をよく耳にする昨今で、一人でも多くの児童が科学に興味を持っていただけましたら幸いです。

本実験実践年報を参考に実験を行う場合は、安全をしっかりと確保したうえで、自己責任のもと行ってください。実験集にある薬品の量を増やしたりしただけでも、危険を伴うようなことがあります。使用する薬品等の量は、守って実験を行ってください。

児童(じどう)の方が実験(じっけん)を行う場合は、必(かなら)ず先生や保護者(ほごしゃ)の方に相談をして、安全を確認(かくにん)したうえで実験(じっけん)を行ってください。安全を自分で確保(かくほ)することも含めての実験です。

大阪教育大学わくわくかがく実験グループ

編集責任者　種田　将嗣

©2022 大阪教育大学わくわくかがく実験グループ

本誌掲載内容の無断複製・転載を禁じます。